

はじめに

第1章

ケアマネジメントの仕事は面白い!

- 第1節 ケアマネジャーの仕事は「やりがい」がある!.....2
- 第2節 ケアマネジメントで身につく「7つの力」
～ワンランク上のケアマネジャーをめざして～.....6
- 第3節 人脈づくりでネットワークを広げる.....10
- 第4節 「自分育て」とキャリアデザイン.....14

第2章

ケアマネジメント・プロセス

- 第1節 ケアマネジメント～プロセスとサイクル～.....20
- 第2節 インテーク 出会い・初回面接・契約.....24
- 第3節 アセスメント.....30
- 第4節 ケアプランのプランニング.....60
- 第5節 カンファレンス 事業所内プラン検討.....104
- 第6節 コーディネート～サービス資源の調整と交渉～.....112
- 第7節 サービス担当者会議.....142
- 第8節 モニタリング
～定期訪問とチームモニタリング～.....164
- 第9節 給付管理 コストマネジメント.....186
- 第10節 リスクマネジメント.....190
- 第11節 引き継ぎ 担当者変更、事業所変更、施設入所など.....204

第3章

居宅介護支援事業所のマネジメント

- 第1節 ケアマネジャーの採用.....224
- 第2節 ケアマネジャーの人材育成 自己成長と自分育て.....230
- 第3節 基本業務とマニュアル.....240
- 第4節 メンタルマネジメント
～ストレスとモチベーションのマネジメント～.....256
- 第5節 苦情対応.....268

第4章

地域密着型ケアマネジメント

- 第1節 地域密着型サービスの特徴と役割.....284
- 第2節 認知症グループホーム.....288
- 第3節 小規模多機能型居宅介護.....318

第5章

施設ケアマネジメント

- 第1節 施設ケアマネジメントの考え方.....328
- 第2節 施設のケアマネジメントプロセス.....342
- 第3節 居住系施設のケアマネジメント.....364

主な参考文献
あとがき

アセスメント

情報収集(把握)と「意向・課題」の発見プロセス

アセスメントは利用者(家族)の情報を単に収集(把握)することではありません。アセスメントは「情報収集(把握)で得た利用者(家族)の現況から導かれる意向とニーズを明らかにし、その解決・達成のための手段(方法)を考える過程」と定義できます。

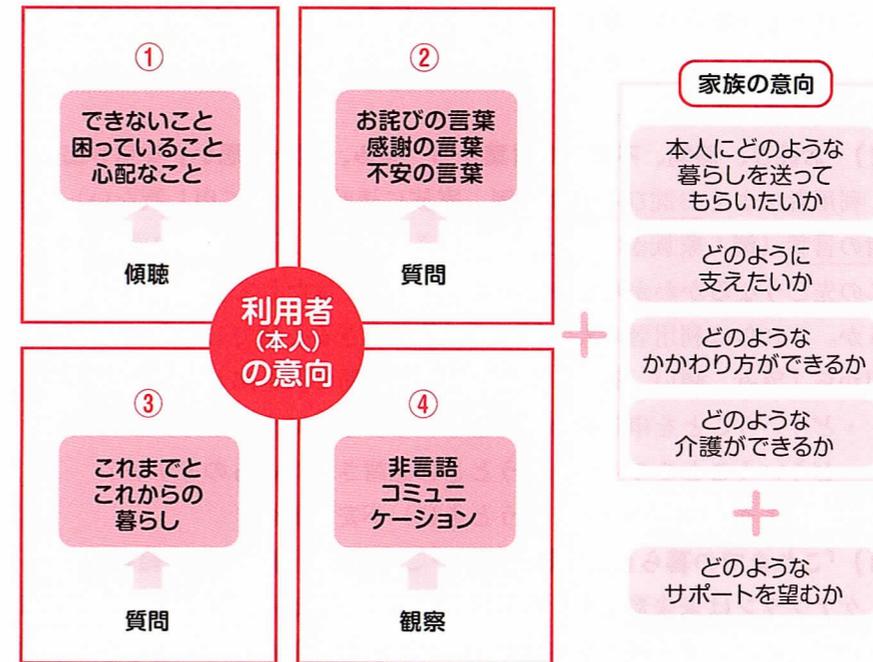
アセスメントを進めるうえで、身体面・心理面・社会面・環境面の4つの側面から利用者(家族)の生活を「包括的」にとらえる姿勢が重要です。

アセスメントは生活課題(ニーズ)の発見のプロセスです。一部には、「排泄が1人でできない」など、利用者が行うことができない現状を課題ととらえる解釈がみられます。しかし生活課題の発見とは、そのような状況から利用者がどのような暮らしを望むのか、その意向(望み・願い)を実現するために「何に取り組むのか」を明らかにすることです。そして「いつまでに・どのレベルまで達成するのか(どのレベルを維持するのか)」が目標(目安)になります。

I. アセスメントの7領域

領域(1)「利用者の意向」と「家族の意向」

ケアマネジメントの主役は「利用者」であるとはいえ、アセスメントの初期段階で「どのような意向をお持ちですか?」と問いかけても、答えられる人は多くありません。専門職の間では日常的な言葉でも、「意向」という用語は一般的にはなじみのない言葉だからです。むしろ、「望み、願い、思い」と言い換えることで、利用者はみずからの言葉で語り始めてくれます。それを引き出す技術が相談面接技術です。



1. 「利用者の意向」のとらえ方

長く介護生活を続けている利用者(家族)や初めて介護生活を始める利用者(家族)に「これからどうしたいですか?」というように問いかけだけで意向を引き出そうとするのは、配慮を欠いた不躰な質問です。利用者にはできないことが増えるばかりで自己肯定感が下がり、できない面ばかりにとらわれて否定的な心情になっている場合もあります。「痛み」が言葉になるまでには時間と信頼関係が必要です。あわてずじっくりと向き合う姿勢が大切です。

1) 「できないこと」「困っていること」「心配なこと」に着目する

利用者が望む暮らし(願う自分)を引き出すように心がけます。かといって誰に対しても「望み、願い、思い」の用語を使うのが適切かというところではありません。目標指向型という言葉に耳にする機会が増えているため「めざす」という用語を使いがちですが、ケアチーム間では使い慣れていても、利用者(家族)にとっては違和感のある表現です。

まずは、「できないこと」「困っていること」「心配なこと」を傾聴することで、「願い・望み」が語られるのを待ちます。

- ・いつから、どのように続いていますか?
- ・どのような生活場面で起こりますか?
- ・それをどのように受けとめていますか?
- ・もし仮に、もう少し〇〇(困りごとの中身)が減ったら、どういうことをされたいですか?

目標指向型